

# こんにちは

2012 Vol. 87  
新年号

STEEL MEMORIAL YAWATA HOSPITAL

# せいそつ病院です

● 特集

## 糖尿病のはなし

● TOP Interview

社会医療法人 製鉄記念八幡病院  
病院長ごあいさつ

● こんにちは探検隊

ふじもと内科クリニック

● Zoom upがん医療は今

非小細胞肺癌の  
抗がん剤治療

● こんにちは体験ルポ

嚔下訓練

● 医療をささえる看護のちから

12病棟

● なるほど! なっ得! 薬の話

かぜ薬の巻

● 医療安全・感染対策 最前線

インフルエンザ対策

### 理念 安心・安全

患者さんの安心・安全  
職員の安心・安全  
病院長の安心・安全

### 基本方針

患者さんの人権を尊重し  
インフォームド・コンセントを大切に  
安心して任せられる医療とサービスを提供します

地域との連携を大切に かかりつけ医との協力のもと  
24時間信頼される診療体制を充実させます

最新・最良の医療水準をめざして研修・教育に努め  
チーム医療の推進を図ります

地域医療支援病院  
日本医療機能評価認定病院  
製鉄記念八幡病院

<http://www.ns.yawata-mhp.or.jp>



特集

# 糖尿病のはなし

2  
特集  
糖尿病のはなし

現代社会において、誰も、いつ糖尿病になっても  
おかしくない時代

早期発見・早期治療と、うまくコントロールすることが重要です

## もはや他人事ではない糖尿病

糖尿病は血液中のブドウ糖、すなわち血糖が通常よりも高くなってしまふ病気です。ブドウ糖は体を動かすエネルギー源となるものですが、糖尿病ではブドウ糖がエネルギーを必要としている細胞に運ばれなくなり、血液の中にあふれてしまっているのです。慢性的に血管の中にあふれているブドウ糖は、長年放置しておくと、やがて血管を傷つけて「合併症」と呼ばれるさまざまな病気をひきおこしていきます。血糖が高いと、通常、のどが渇く、トイレ(尿)の回数が増える、疲れやすくなる、急にやせるといった症状があらわれますが、なかにはまったくそのような症状がないまま経過し、合併症がでてから初めて糖尿病に気づかれるという方もおられます。

全国に糖尿病の方は、予備軍を含めて約2,200万人\*いると考えられます(図1)。これは日本の人口の5~6人に1人の割合で、急速なペースで増えています。食べ過ぎやお酒の飲みすぎによる肥満、自動車の普及によって歩かなくなったことなど、いわゆ

る食生活の欧米化が糖尿病の増加に関係しているといわれていますが、現代社会においては誰もがふだん経験していることではないでしょうか？

糖尿病になるというのは、もはや他人事ではないのです。  
\*平成19年 国民健康・栄養調査

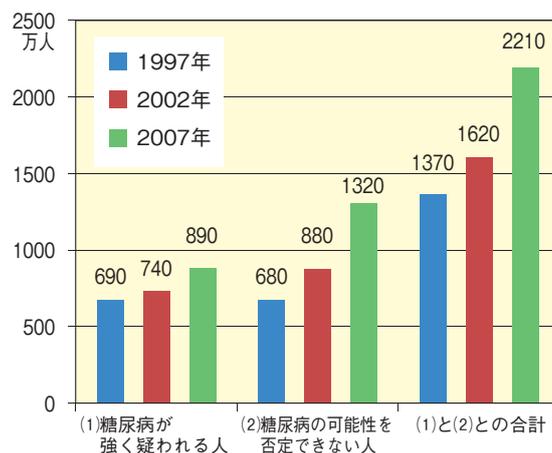


図1 糖尿病人口推移

## 糖尿病は早期発見・早期治療が大事

糖尿病の診断は、血糖値を調べることでわかります。とくに初めの段階では、食事前の血糖値(空腹時血糖)が正常であっても、食後に血糖値が上がり過ぎてしまうという方が多いので、経口ブドウ糖負荷試験が有用です。また、近年は、診断にHbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)がもちいられるようになりました。HbA1cとは、直近1~2ヶ月間の血糖の平均をあらわす指標です。この値が6.1%を超えると、糖尿病の疑いが強くなります。

最近の欧米の研究から、糖尿病と診断されて早いうちから血糖を良好な状態に保った方が、そうでない方よりも、合併症のおこる割合が低いばかりか、死亡率も低かったということがわかりました。先にも述べましたように、血糖が少々高くても症状があらわれないこともあります。症状がないからといって、糖尿病を放っておくと、合併症をおこしてしまうことになりかねません。とくに健康診断などで、すでに血糖値が高いといわれている方は要注意です。



すごろくのようなクイズ形式の  
カンパセーションマップで  
勉強します



剣道五段の天野一志医師の指導による  
竹刀を使った運動療法

## まずは自らが主治医となること

医学は急速に進歩していますが、残念なことに糖尿病はまだ完全に治る病気ではありません。新しい作用機序の治療薬が数多く使われるようになったとはいえ、食事の内容や運動が不十分なままでは、良好な血糖コントロールを続けることは困難です。糖尿病の治療で大事なことは「学習すること」です。糖尿病のこと、食事や運動、お薬のことなどをよく知って、まずは自らが主治医となる必要があります。製鉄記念八幡病院では、北九州市内でも早くから「教育入院」を行っており、楽しく勉強していただいています。血糖がなかなか下がらないという方は、一度教育入院をうけられることをおすすめします。



中村部長 天野医師 中野医師



糖尿病教育入院カンファレンス



糖尿病患者の会「帆柱会」30周年記念行事



糖尿病内科部長 中村 宇大

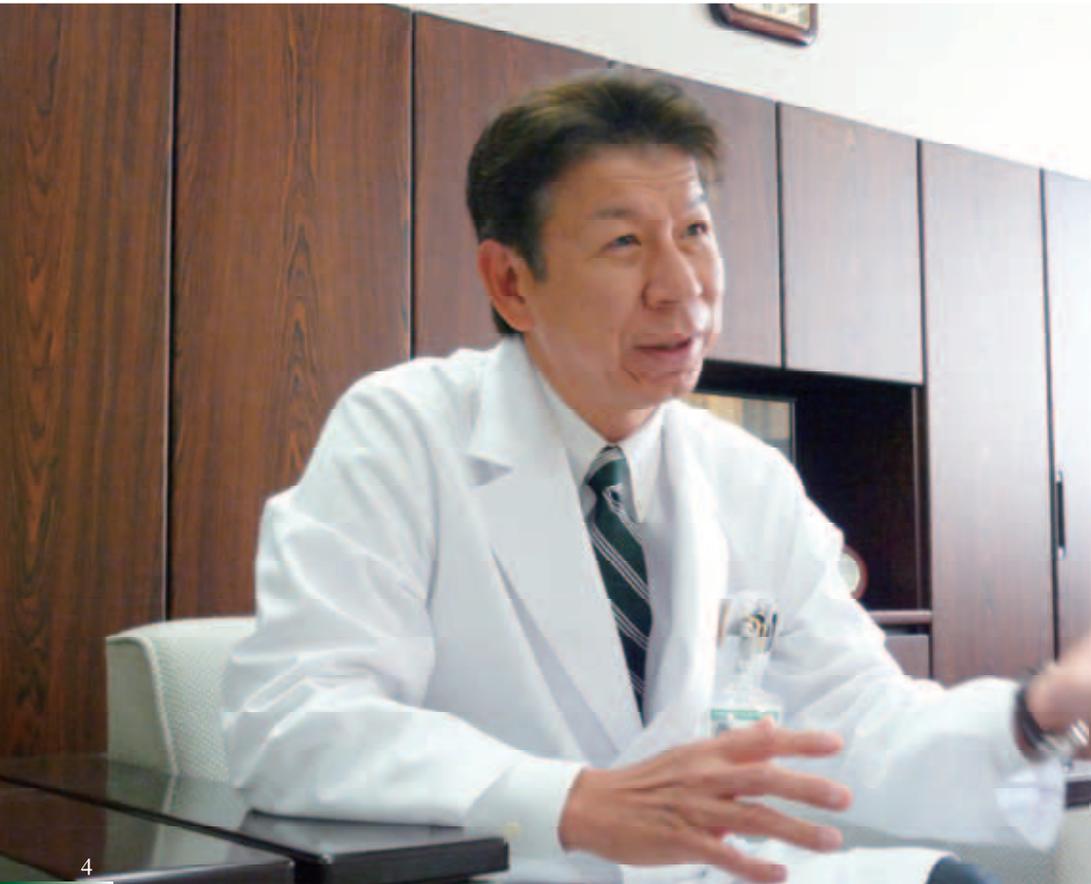
日本糖尿病学会専門医  
日本糖尿病学会指導医  
日本内科学会指導医  
日本内科学会認定医

- ・糖尿病の患者として、今まで病気について、甘い考え方や理論的に知識が大いに不足していたことを感じました。この体験を活かして、これからのそう長くもない人生をできるだけ、健康人と同じように楽しんでいきたい。先生、看護師、管理栄養士の方々に感謝の気持ちです。
- ・何よりも正確な知識が必要だと痛感した。家族のためにも長生きしたいので、しっかりと血糖コントロールを続けていきたいです。
- ・第一印象は、非常に厳しく、正確に運営されていると感じました。講義は、分かりやすく楽しいものでした。栄養指導は、これも認識を改めさせられることが多く、非常にありがたかった。看護師のみなさまには大変お世話になりました。今後、血糖のコントロールのために励み、意義ある生涯を送りたい。

糖尿病教育入院感想文より

社会医療法人 製鉄記念八幡病院 病院長ごあいさつ

救急医療の充実と  
地域のニーズに応える  
質の高い地域医療の実践を



4  
TOP Interview

あけましておめでとうございます。さて当院は1900(明治33)年に官営八幡製鉄所の附属病院として設立され、1974(昭和49)年に一般市民の方々に病院を開放し、1997(平成9)年には新日本製鐵のもとを離れ「医療法人社団 新日鐵八幡記念病院」となりました。2005(平成17)年には地域医療支援病院に承認され、地域の中核病院として急性期治療をおこなってきました。

このたび、2011(平成23)年12月1日福岡県知事から、あらたに社会医療法人の認定をうけました。それにともない、名称を「社会医療法人 製鉄記念八幡病院」に変更いたしました。また、看護学校の名称も「製鉄記念八幡看護専門学校」に変更しました。社会医療法人とは、地域でとくに必要な医療(救急など)の提供を担う医療法人として位置づけられます。

今までは公的病院が地域の医療を担っていましたが、医療崩壊といわれるご時世のなか、公的病院がその機能を果たせなくなってきました。そこで、民間病院にその機能を果たしてもらおうとしてできたのが社会医療法人です。社会医療法人に認定されたということは、病院の医療機関としての能力や品格が、国すなわち社会から認められたことを意味します。あらためて身の引き締まる思いがします。

これまで以上に、救急医療の充実を図るとともに、地域のニーズに応える質の高い地域医療を実践してまいります。これまでどおり「せいてつ病院」の愛称で呼んでいただきますとともに、みなさま方のあたたかいご指導・ご支援を賜りますようお願いいたします。



理事長・病院長 石束 隆男 いしつか たかお

1975 九州大学医学部卒業、第2内科入局  
1982 米国コーネル大学神経内科に留学  
1988 九州労災病院 脳卒中診療科部長 2004 同副院長  
2008 北九州市医師会 副会長兼任  
2010 新日鐵八幡記念病院 副院長 2011 同病院長  
【専門】 脳卒中・高血圧  
日本脳卒中学会専門医 日本老年医学会専門医  
日本老年医学会指導医 日本高血圧学会指導医  
日本内科学会認定医



インタビュー 放射線部 中園 裕一郎  
臨床心理士 片江 あづさ  
撮影 医事部 秋吉 裕美



院長 藤本 裕司先生

# ふじもと内科クリニック

今回探検隊は、八幡西区鉄竜にあるふじもと内科クリニックを訪問しました。院長の藤本裕司先生は、旧三菱化学病院などの勤務を経て、2006(平成18)年5月に、ふじもと内科クリニックを開院されました。地域とのつながりを大切にし、患者さんの立場に立った医療を展開されています。

## Q:先生のモットーのお聞かせください

A:患者さん一人ひとりと向き合い、どんな悩みでも相談できるように明るく、やさしく、誠実に接することを心がけています。そして、少しでも笑顔になってお帰りいただきたいと考えています。

## Q:貴院の特色を教えてください

A:肝臓と消化器疾患が専門ですが、どんな患者さんにもお越しいただいています。大きな病院ではなかなか話せない悩みや、細かな相談にもきちんと応対することに、院長をはじめスタッフ一同、力を入れています。これからも地域のみなさまの身近な病院として、お役に立てればと考えています。

それから、院内は木を多く使った作りになっています。不安を抱えお越しくださっているみなさまに、少しでも落ち着ける空間になっていればと思います。

## Q:当院へのメッセージをお願いします

A:製鉄記念八幡病院には、救急搬送をお願いすることがありますが、いつも素早い対応をしていただき、とてもありがたく思っています。また、医療連携室のみなさんにも気持ちの良い対応をしていただいています。これからも病診連携、診診連携をよろしくお願いします。



玄関を入ると外観のイメージとは違い、木の温もり、間接照明のやさしい光が目飛び込んできます。自然と心地よい気分になりました。藤本院長は多忙な中でも、地域の方と普段からつながりを持つことも大切にしておられ、山笠や25時間マラソンなど、地域行事にはできるだけ参加しておられるそうです。地域に根ざしたかかりつけ医になるためには、「在宅で看取りまでできたら」というお言葉が印象的でした。藤本院長の地域に対する熱い思いを伺うことができました。

### 今回の探検隊

リハビリテーション部  
松永 裕也  
看護部  
高木 久美子



## ふじもと内科クリニック

八幡西区鉄竜1丁目3-3  
TEL093-644-1788

### 診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	△
14:00~18:00	○	○	△	○	○	△	△

## 非小細胞肺がんの抗がん剤治療



呼吸器内科部長  
今永 知俊

肺がんは組織により小細胞がん、腺がん、扁平上皮がん、大細胞がんなどに分けられます(図1)。抗がん剤の効果が高い小細胞がんと比べ、それ以外の非小細胞がんの抗がん剤治療は治療効果が劣っていましたが、最近15年ほどで開発された第三代抗がん剤にはじまり、\*分子標的薬や新たな抗がん剤の登場で治療効果が高くなってきました。

図1

		肺がん			
		非小細胞がん			
小細胞がん	扁平上皮がん	非扁平上皮がん			
		腺がん	大細胞がん	その他	

### 非小細胞がんの抗がん剤治療

非小細胞がんの抗がん剤治療は、全身状態のよい方が対象になります。第一選択薬は第三代抗がん剤のパクリタキセル(タキソール®)、ゲムシタビン(ジェムザール®)などをプラチナ製剤(パラプラチン®・ランダ®)と呼ばれる抗がん剤との併用ですが、さらに分けて抗がん剤を選択するようになりました。

\*\*EGFR遺伝子変異を調べることによって、分子標的薬のゲフィチニブ(イレッサ®)を第一選択薬の候補に加えるかどうかを判断します。そのうえで扁平上皮がんと腺がんなどの非扁平上皮がんに分け、非扁平上皮がんに対し、プラチナ製剤とペメトレキセド(アリムタ®)の選択や、抗がん剤に分子標的薬であるベバシズマブ(アバスタ®)を加えることで、より治療効果を高めています。

### 患者さんに合わせた抗がん剤治療

肺がんの患者さんはご高齢の方も多く、他疾患との合併や、体力的にも強力な治療が困難な方が少なくありません。新しい薬剤は特有の副作用を有するものもあり、患者さん個々の状態をしっかりと把握することに努め、治療を慎重に行っていきたいと思えます。



チームカンファレンス

[胸のCT]



イレッサ®内服前



イレッサ®内服4ヶ月後



\*分子標的薬：正常細胞とがん細胞の違いを分子レベルで解明し、がんの増殖や転移に必要な分子の特定の場所をねらって、増殖をおさえるくすりです。

\*\*EGFR；EGFRとは、上皮細胞増殖因子受容体という体のなかにあるたんぱく質です。このたんぱく質は、細胞の増殖のスイッチオン/オフの役割をするといわれています。がん細胞にも多く存在し、はたらきも活発なために、正常細胞よりもがん細胞の増殖が速くなっています。このスイッチをオフにする治療がすすめられています。

えんげ  
嚥下訓練

さまざまな原因により、言葉や聴覚に障がいがある人に対して、言語聴覚士(ST)が専門的な訓練をおこなって機能回復を図ります。製鉄記念八幡病院では、言語聴覚士のエキスパート2名が活躍しています。嚥下訓練は、飲み込みができにくい状態となる嚥下障害がある方に対して、言語聴覚士がおこなう訓練のひとつです。今回は、嚥下訓練を体験してみました。



嚥下チーム (左から)言語聴覚士/八尋 綾子  
耳鼻咽喉科医長/大蔵 謙治  
言語聴覚士/前川 ヤス子



①訓練は病室でおこなわれます



②嚥下訓練7つ道具  
さまざまな道具を使って機能を評価します



③状態を確認するため、水を飲みます



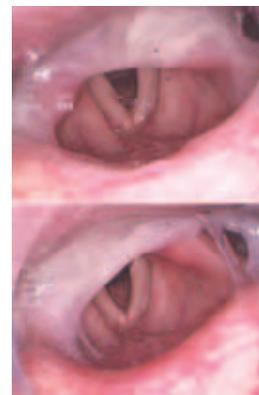
④咽頭に水が残っているかの確認を聴診器で判定します

水が残っている方

水が残らなかった方

耳鼻咽喉科を受診し、検査をおこなって嚥下障害の原因を探します

●内視鏡検査



●造影検査



▲食道と気管にも水が流れている写真です

◀気管と食道の入り口(声帯/喉頭蓋)

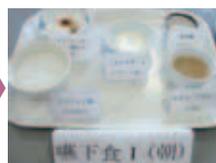
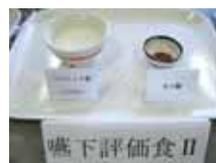
診察と検査の結果、飲み込みができないと診断された場合は、点滴や胃瘻など、他の栄養摂取方法を検討します



今回の体験隊

看護部 山本 亜由子  
医療相談室 清國 睦美

●製鉄記念八幡病院の嚥下段階食



食事形態を嚥下評価食Iのゼリーから、徐々に形のあるものに変えていきます

# 12病棟

プロ意識と専門性の高い看護ケアで  
安心・安全、そして思いやりのある  
やさしい看護を提供します



12病棟は、小児科・腎臓内科・糖尿病内科・眼科の混合病棟です。小児科があるため特殊なケアがあることや、腎臓内科・糖尿病内科があるため生活指導をおこなうこと、眼科は手術を受けられる患者さんが大変多いことなどが特徴です。

スタッフは、医師11名と行實師長を筆頭に30名の看護師、クラーク・看護助手5名で患者さんに安全で安楽な入院生活を送っていただけるよう心がけています。



## 小児領域では…

おもな疾患は、小児科の感染症全般・川崎病・熱性けいれんなどです。そのほかに、小児の熱傷・形成・耳鼻咽喉科・眼科の手術などもおこなっています。成長発達に応じて処置の方法が異なるため、一人ひとりに合わせたケアを提供することを心がけ、健康の回復と健やかな成長発達を目標としています。



## 腎臓内科では…

シャント管理指導、段階に応じた食事指導、腹膜透析では透析手技から生活の注意点など、患者さんのペースや生活に合わせて指導しています。PTA（経皮血管拡張術）や腎生検なども安心して受けられるよう心がけています。



## 糖尿病内科では…

医師・看護師・管理栄養士・理学療法士・薬剤師・臨床検査技師とチームを組み、2週間で糖尿病のことを正しく学ぶべく教育入院をおこなっています。血糖調整が不良であれば、再度、生活を振り返り、改善点を見つけられるようかかわっています。



## 眼科では…

白内障・網膜硝子体疾患・角膜移植・眼瞼下垂・緑内障など、さまざまな手術をおこなっています。術後に正しい点眼の方法を薬剤師とともに指導しています。



### 12病棟担当薬剤師より

糖尿病教育入院の患者さんにお薬の講義や、眼科の手術をされる方に点眼薬について説明をおこなっています。12病棟のスタッフが安心してお薬を使用できるよう努めています。

山本 瞳

## かぜ薬の巻

かぜ薬は、根本の原因となるウイルス感染を治療するのではなく、発熱、せき、鼻水や鼻づまりなど「かぜの諸症状を緩和」します。かぜと診断されると、一人ひとりの症状や体質に合わせて複数のお薬が処方されることがありますし、また、薬局等で販売されている薬にも非常に多くの種類があります。それぞれの症状にどのような薬が使われるか説明します。

### 熱や頭痛、のどの痛み (解熱鎮痛薬)

ピリン系と呼ばれる薬剤は強い解熱効果がありますが、まれに薬疹がでることもあります。NSAIDs(非ステロイド性抗炎症薬)と呼ばれる薬剤は解熱や抗炎症作用がありますが、小児には使えません。さらに、ほかに飲んでいる薬に影響がでる可能性がありますので注意が必要です。

### せきやたんのからみ (鎮咳薬・去痰薬)

脳のせき中枢にはたらいてせきを鎮めます。コデインが配合されているものは強い鎮せき効果がありますが、眠気や便秘の副作用があります。たんを溶解し粘稠度を下げたり、たんの粘液の性質を変化させたり、潤したりすることにより、たんを排出させやすくします。

### 鼻水やくしゃみ (抗アレルギー薬)

抗ヒスタミン作用により炎症や過敏反応を抑え、鼻水やくしゃみを抑えます。しかしながら、口の渇きや眠気の副作用があるので、車の運転等をされる方は注意が必要です。

### 総合感冒薬

熱や頭痛・のどの痛み・鼻水やくしゃみ・たんのからみ・せきなどのかぜのあらゆる症状を治療するように作られています。不快感を取り除くカフェインが含まれるなど、製品によって配合成分が異なります。

それぞれの症状に適した治療がおこなえるように、総合感冒薬よりは個別の症状に対応した薬を飲むほうが良いとされています。

このほかにも、細菌性のかぜの場合や二次感染での合併症を予防するために抗菌薬(抗生物質)が使われることもあります。場合によっては漢方薬で治療することもあります。気になることがございましたら薬剤師までご相談ください。

## インフルエンザ対策

インフルエンザは、毎年冬から春にかけて流行します。インフルエンザの感染力は非常に強く、日本では毎年約1千万人、約10人に一人が感染しています。

インフルエンザに感染しないために、一般的な感染予防対策として、つぎの4つを心がけましょう。



流行前の  
インフルエンザ  
ワクチンの接種



外出後の手洗い・  
うがいの励行

マスクをさわった  
あとにも  
手洗いしましょう



体の抵抗力を高める  
ために、日ごろから  
十分な休養と  
バランスのとれた  
食事をとる



せきエチケットを  
守る

せきやくしゃみの中には、インフルエンザウイルスなどのばい菌が含まれているかもしれません。十分気をつけましょう。

風邪は重症化することはありませんが、インフルエンザは子どもではまれに急性脳症、高齢な方や慢性のご病気をお持ちの方は、肺炎を併発するなど、重症になることがあります。

### せきエチケット

- せきやくしゃみが出るときは、人に向かってしないようにしましょう
- せきやくしゃみがでるときは、ティッシュなどで口や鼻を覆いましょう
- マスクを着用しましょう



### ■ 風邪とインフルエンザの違い

	風 邪	インフルエンザ
症 状	鼻水やのどの痛みなどの局所症状	38℃以上の発熱やせき、のどの痛み、全身の倦怠感や関節の痛みなどの全身症状
流行時期	1年を通してかかることがあります	1～2月に流行のピーク ただし、4～5月まで散発的に流行することも

インフルエンザにかかったとき、自分の体を守り、他の人にうつさないためにもマスクを必ず着用し、早めに近くの内科や小児科に受診しましょう。普段から、かかりつけ医を見つけておきましょう。

## 反重力トレッドミルを導入しました

製鉄記念八幡病院リハビリテーション部では、昨年10月より最新技術の反重力トレッドミルを導入しました。

この機械は、NASAで開発されたDAP (Differential Air Pressure) テクノロジーによる空気圧の調整により、下肢にかかる負担を最大で体重の20%まで軽減することができるので、障害を受けた機能の回復をより早めてくれます。外傷後や神経障害のリハビリに、負荷を減らした状態でのトレーニングが可能です。



ALTER-G®

### ● メリット

- 自然な動作による快適なリハビリテーションの実現
- 使用者に合わせて痛みのない負荷に調節可能
- 転倒などのリスクを最小限に抑えた安心設計
- 緊急停止装置により事故を防止
- 患部への負荷を軽減

### ● 対象患者

骨・関節疾患 脳卒中 心臓リハビリテーション  
 下肢血管疾患 廃用症候群(長期の安静によっておこる心身の機能低下)



## Topics 中学生職場体験レポート

2011年10月13・14日  
 北九州市立中央中学校の  
 2年生4名の生徒さんが職  
 場体験にやってきました!!

### 1日目



オリエンテーション



ベッドサイドで患者さんと  
 接しました



救急部では、人工呼吸、  
 心臓マッサージ、AEDを体験

### 2日目



リハビリには目的別の  
 種類があります



はじめて人工透析を  
 見ました



患者さんの移動リフトを  
 見学しました



質問コーナー  
 「どんなときに、やりがいを感じますか？」



(左より) 穴井教育担当師長 立野くん  
 小屋松さん 持永さん 田淵さん 柿坂業務担当師長

- 看護師のみなさんは、患者さんたちに親しく接したり、患者さんのために真剣に話し合ったり、本当にこの仕事が好きなんだなと感じました。
- はじめて会った人との会話の難しさを経験しました。
- 看護の仕事がどれほど大切で大変な仕事なのか、よく分かりました。入院している方々への接し方や配慮の難しさを経験し、とてもよい勉強になりました。
- 命を預かっている立場になって、一生懸命勉強していこうと思います。
- この経験を生かし、将来なりたい自分になるために、一生懸命がんばっていきたいと思います。

2日間おつかれさまでした!  
 製鉄記念八幡病院は未来の医療従事者を応援しています。

# せいてつ病院健康講座

【第36回テーマ】 膠原病ってどんな病気？

参加  
無料

講師：製鉄記念八幡病院・産業医科大学第一内科勤務  
日本リウマチ学会リウマチ専門医  
日本内科学会認定内科医

園本 格士朗 先生

「膠原病」という病名を聞かれたことはありますか？どのような症状がでるのか、治療や検査、病気の原因のことまで、あらゆる疑問にお応えする講演です。どなたでもご自由にご参加いただけます。一緒に学んでみませんか？

日時 **2.18** (土曜日) 14:00~15:30

●お申し込みは不要です

会場 第一会議室 (管理棟4階講堂)

●無料駐車券を準備しています

お問い合わせ 製鉄記念八幡病院 総務部 TEL **093-672-3176**

## 新しい制服で気持ちもあらたに



総合受付

昨年10月から、受付などの事務服を一新しました。新しい制服にふさわしいホスピタリティマインドで、患者サービスの向上につとめます。

## 今年 年の抱負



麻醉科 岩垣 圭雄

今年も一生懸命頑張りますのでよろしくお願いたします。  
仕事以外の大きな夢：ギター片手に路上ライブをやること  
小さな夢：子供とAKB48の握手会参加

看護部 正原 聖



一昨年10月に1人目の子供を出産後、23病棟に復帰となりました。今年も仕事と家庭と大変ですが、周囲の協力も借りながら頑張っていこうと思っています。



医事課 有川 寛紀

2回目の年男です。入社して4年目になりますが、今年も色々なことに挑戦し、仕事にプライベートにと充実した1年となるよう頑張っていきたいと思っています。

看護部 下地 涼子



今年も健康で笑顔の1年にし、日々の経験を大切にして、看護師として一歩ずつ成長していきたいと考えています。



ペットボトルキャップをあつめて  
世界の子どもたちに  
ワクチンを届けよう!



10月24日現在1027人分 ご協力ありがとうございます

9月 八幡大蔵病院のみなさん/鳴水市民センターのみなさん  
10月 新日鐵化学㈱九州製造所のみなさん/地域市民の方  
11月 地域市民の方

◀新日鐵化学さんは半年間で34,300個回収されました

## 診療科目

内科	肝臓内科	消化器内科	循環器内科	糖尿病内科	腎臓内科
心療内科	脳血管内科	呼吸器内科	小児科	外科	消化器外科
呼吸器外科	血管外科	脳神経外科	整形外科	リウマチ科	形成外科
産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	緩和ケア外科
病理診断科	放射線科	麻酔科			

## 専門外来

内科	神経内科/血液外来/甲状腺外来/ 膠原病外来/ペースメーカー外来/ 腹膜透析外来/禁煙外来	呼吸器内科	SAS外来 (睡眠時無呼吸症候群)	整形外科	リウマチ外来
心療内科	カウンセリング/自律訓練外来	小児科	小児循環器/小児神経/ 小児腎臓/小児肥満/	放射線科	放射線治療外来
		外科	ペインクリニック	緩和ケア	緩和ケア外来
				女性診療外来	乳腺外来

休診日：日曜、祝日、第2・4土曜日

予約センター：093-671-5489

夜間休日急患受付：093-672-3111

全科予約制

予約受付時間 8:00~16:00  
当日予約は10:30まで

## 編集後記

こんにちは！この度、広報誌編集部委員になりました。医療って、なに？なぜ？の好奇心で院内、院外を探検取材していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。

医事課 田辺 浩子

こんにちは  
せいてつ病院です

発行日：2012年1月1日  
発行部数：4000部

社会医療法人 製鉄記念八幡病院

〒805-8508北九州市八幡東区春の町1丁目1-1

TEL 093-672-3176

http://www.ns.yawata-mhp.or.jp

編集・発行責任者：病院長 石束 隆男

●広報誌へのご意見はこちらまで info@ns.yawata-mhp.or.jp

●地域医療連携のお問い合わせ TEL093-671-9700

デザイン編集・印刷：よしみ工業株式会社 表紙イラスト：かわぐち たまよ